

議員定数及び報酬に関するレポート

提出期限 5月26日(月)正午まで No.1

議員定数及び報酬に関する調査特別委員会

委員氏名【 丑若 浩行 】

○現時点における考えとその根拠や理由について

〔定数〕

定数については今まで通りの2減という考え方に変わりはありません。その根拠としてやはりアンケート調査の結果や町民の皆さんと話す時、6000人しかいない町では減らした方がいいと感じている方が多い印象です。また理由として議員定数を減らすことによって少数派の意見が通りやすくなるなどのメリットもあります。現在のところ本町では議員になり手不足にはなっていませんが、このまま人口減少が進めば議員の定数割れや私も含めて質の低下も懸念されると思います。やはり議会議員は選挙で選ばれるべきであり、2定数減が適当と考えます。

〔報酬〕

報酬に関しては基本的には現状維持が望ましいと考えます。前回は定数減を前提とした増額もやむなしとの考えも持っていましたが、町民懇談会やアンケート結果から考えると現状維持が望ましい。また今年度予算審議においても将来的に本別町の財政の逼迫が懸念される中、増額は難しい。議員報酬を上げるより、議員定数を減らした分お金のかかる議会DXなど議員の環境整備にまわし、事務局負担を減らしつつ町民の福祉に繋げるべきではないでしょうか。また報酬審議会で意見を頂くことも有効と考えます。